

## ジャパン・ウィザードの勝利チームが新旧日本を見る

ハワイ・オアフ島の聖フランシス校の3人の生徒と引率の日本語教師がハワイ日米協会の主催した2008年ジャパン・ウィザード・レベル4チームコンペティションで優勝した褒賞として6月に日本を旅行しました。旅行を通じて、彼らは東京タワー、秋葉原の電気街といった現代の日本と、浅草寺や明治神宮といった古い日本の両方を体験しました。旅行のハイライトは、「オールド東京」の生活を保存する江戸東京博物館への訪問旅行でした。東京の中心に位置する江戸東京博物館（東京の元々の名前にちなんでつけられたもの）は1600年から1868年の明治以前の日常生活を展示しています。博物館には、江戸時代の日本橋（江戸の中心にあった橋）を再現した大きなジオラマがあります。生徒たちは、現代の東京をつくるためにどのように日本人が土地開拓をしたかを学びました。また日本において宗教（古来の神道、仏教、キリスト教が混じり合いながら）がどんな役割を果たしたかを学び、その慣習や信仰を自分たちのものと比較することができました。



(左から)聖フランシス校の日本語教師・引率者の *Yoshiko Tokuda*、*Sheila Saromo*、*Diane Bautista*、*Kaede Yanagihara*。東京多摩日米協会 事務局長 *Shoichi Suzuki* 氏、会員 *Sakazume* 氏 江戸東京博物館にて



*Sheila Saromo と Diane Bautista が伝統的な浴衣で、博物館の温泉  
ガーデンの花を楽しむ様子、Kaede Yanagihara が人力車に乗る様子*

新しく創設された東京多摩日米協会のご協力により、ハワイ日米協会は江戸東京博物館とは別の博物館の訪問（東京の中心での日本の伝統的な温泉体験を含む）を手配することができました。生徒達は日本の夏の装いである浴衣に着替え、東京多摩日米協会のご好意で、温泉と日本のフルコースランチを楽しみました。東京多摩日米協会事務局長 **Shoichi Suzuki** 氏が生徒達のためにこのユニークなツアーのエスコートをしてくださいました。生徒達からは、日本人とアメリカ人がいかに異なる生活、発展を遂げてきたかを学ぶことができ、また異なる文化にふれることができたことがとても貴重な経験だったとの報告がありました。

毎年開催しているジャパン・ウィザード・アカデミック・チームコンペティションやハワイ日米協会がスポンサーとなっているその他のプログラムに興味のある学校関係者や生徒のみなさんは是非ウェブサイト [www.jashawaii.org](http://www.jashawaii.org) の「Educational Programs」や「Opportunities」をご覧ください。申し込み方法や連絡先詳細などを確認できます。